



# デルタスピーディー、その魅力

# デルタスピーディーは何がスピーディーなのか？

デルタスピーディーはその名の通り、早い開花を目標にオランダで育種されました。

しかし、「何が早いのか」、「日本の市場においてどのようなメリットがあるのか」はオランダと少し様子が異なります。

デルタスピーディーの特性、日本におけるスピーディーの使い方を解説します。

# デルタスピーディーの育種目標

オランダを中心としたヨーロッパ北部ではパンジーの需要は春がメインです。

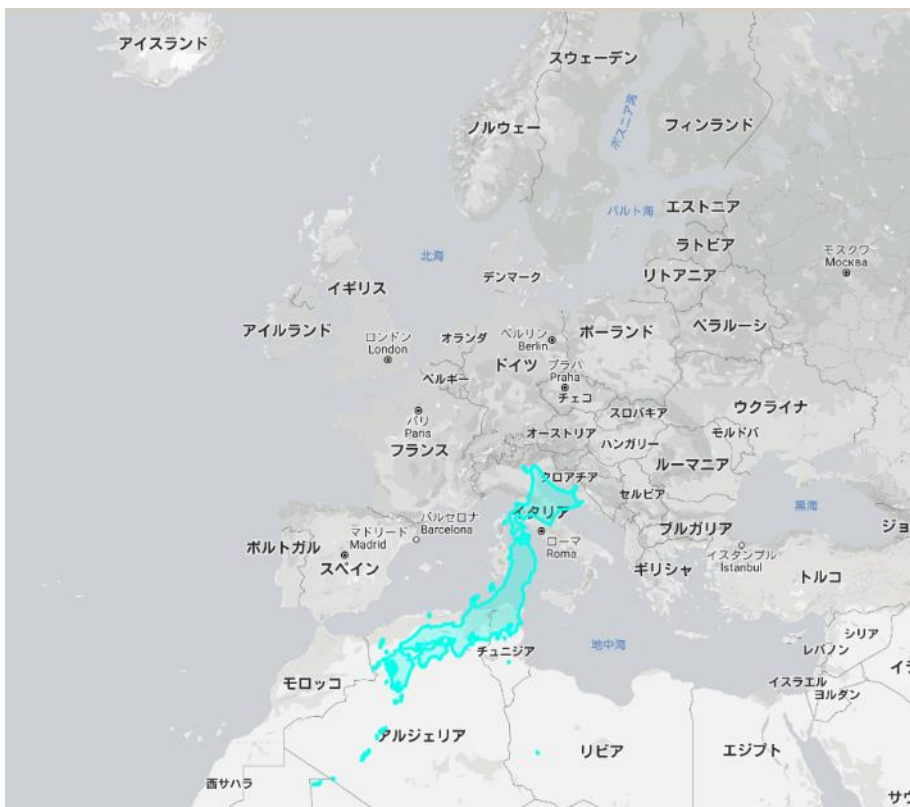
そして、ヨーロッパ北部の冬の日長は日本よりもはるかに短く、春作の開花には時間がかかります。

そこで育種されたのがデルタスピーディー。短日開花性を追求してきました。

短日開花と言う特性は秋の需要がメインの日本でも植栽現場で、ご家庭で開花しやすいと言う利点にもつながります。

近年の試験で秋の生産メリットも分かってきました。

# オランダの冬はどれくらい日長が短いの？



オランダは日本で言う樺太と同じくらいの緯度に位置します。

12月末には8時間を下回り、日本より1時間半も日長が短い環境です。

そんな過酷な環境で育種もされているので、日本の冬は日が長く感じるのかもしれませんが。

# デルタスピーディーの短日期の実力



短日期の開花も早く、次々と花を着けるため、店頭での陳列にも差が出ます。

# デルタスピーディーの短日期の実力



多花性の性質は植栽や、一般家庭でもその実力を発揮します。

# デルタスピーディー、秋のメリットはないのでしょうか？



2018/9/6定植  
2018/10/5撮影

10月初旬でも開花に差があります。

# デルタスピーディー、秋のメリットはないのでしょうか？



2018/9/6定植  
2018/10/5撮影

開花だけでなく、株も充実します。



## 耐暑性は？

残念ながら、耐暑性を意識した育種ではありません。

競合品種に比べて劣るわけではありませんが、

耐暑性を求めるのであれば、コロツサスをご使用ください。

季節に応じた品種選定が、重要です。

# デルタスピーディーの解禁日

「スピーディーはシーズン後半でもよく花が上がる。  
その開花の高速力をもう少し前倒して活かさないか？」

**答えはYes.** ヨーロッパでメインの販売時期となる春に、文字通り「スピーディー」に生育・開花させることを目的に開発されたのが「Delta speedy」。低温・短日となる日本の11月以降の出荷に向けて、その実力は如何なく発揮されます。そして2018年、その回転の速さが夏場の育苗にも効果的であることが立証されました。デルタスピーディーの早期開花性能は、もはや成田シードセンターの試験や多くの産地情報により、バンジーのシーズン前半から活かされることが明らか。「早く仕上がる」「揃って仕上がる」「株もそこそこ充実する」と、その性能を実感される生産者の方が確実に増えてきています。

**エリアにより作型に要注意！  
解禁日厳守！** お願いします。

ただし、デルタスピーディーは「耐暑性」や「株の充実」に主眼を置いた開発はされていません。そこで、夏の暑さの地域差を想定して、「デルタスピーディー解禁日」を設定しました。下記の日本地図を参考に皆さんの環境に合わせて、無理のない栽培計画を組んでください。解禁日前の場合は高耐暑性品種の「コロッサス」、また株の充実を重視する方は「デルタプレミアム」をご使用ください。それぞれのシリーズの特性を活かすことで、栽培ロスや開花遅れを防ぐことができ、安心して栽培することができます。

- 寒冷地(北海道・東北地方)
- 準寒冷地(北信越・山陰地方・岐阜県北部)
- 温暖地(関東・東海・関西・山陽地方・山梨県)※一部除く
- 高温地(埼玉県・群馬県南部・栃木県南部・岐阜県南部・四国・九州・沖縄地方)



気候区分	播種	定植	スピーディー出荷解禁時期
寒冷地	7/20頃	8/20頃	9/20頃
準寒冷地	7月末	8月末	9月末
温暖地	8月上旬	9月上旬	10月上旬
高温地	盆明け	9月中旬	10月中旬

安全に栽培していただくために、解禁日を設定しました。

# デルタスピーディー、その魅力

- 短日開花性により消費者（最終顧客）が満足して冬の花壇を楽しめます。
- 短日開花性はシーズン後半以降も安心して計画栽培できます。
- 早期開花性はシーズン前半の高回転栽培、低コストのお手伝いをします。